

第2節 学校教育課

〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・V」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、前年度に作成した教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。そして、平成30年度の「全国学力・学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」の結果を基にした家庭用・教職員用のリーフレットを作成・配布した。3学期には、市内全44小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問を実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、放課後教室については、本年度も市内全30小学校で開催し、基礎基本の定着と学習意欲の向上を図った。さらに、学力向上推進研究校として東陽ブロックの小中学校を指定した研究については、教員の指導力の向上を図る研究を進め、3か年研究の2年目を終えた。

小中一貫教育については、平成28年3月に作成した「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施し、本年度は、市内14の小中学校ブロックで、合同学校運営協議会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。さらに、小中一貫教育研修会では、一貫性のある教育課程の編成を目指して、教頭と学習指導主任を対象とした研修会を開催した。各中学校ブロックで協議をするほか、宇都宮大学の松本敏教授から指導助言をいただいた。

人権教育については、本年度、大平ブロックの小中学校を人権教育実践研究校に指定して、「人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成」を目指した研究を推進した。

道徳教育については、本年度、大平南ブロックの小中学校を道徳教育推進研究校に指定して、「ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童生徒の育成」を目指した研究を推進した。

特別支援教育については、本年度、栃木中央小学校を研究校に指定して、「一人一人が生き生きと学び、どの子も『分かる』を実感できる授業の在り方」を研究主題として研究を推進した。本研究の協力校として、栃木東中学校、栃木西中学校、栃木第三小学校、栃木第五小学校を指定した。

外国語教育については、新学習指導要領の実施に向けて、全小学校教員を対象とした訪問研修を実施した。また、中学校との接続を重視した小学校5・6学年の『栃木市小学校「外国語科」活動プラン集』を作成し、市内全校に配布した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進することを目的とした「“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム」を開催し、児童生徒だけでなく、教員や保護者の代表を募り、それぞれの立場でのいじめ防止

対策について意見交換を行った。

学務係

1 学務に関する事業

(1) 教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
51	50	81	46	46
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
14	2	2	21	35

(2) 教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

- ・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
- ・人事異動に伴う事務
- ・学級編制に関する事務
- ・学校事故に関する事務
- ・各種選考試験に関する事務
- ・教職員評価制度に関する事務
- ・表彰に関する事務
- ・公務災害に関する事務
- ・教員免許制度に関する事務
- ・教職員の履歴に関する事務

(3) 教職員給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はいないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4) 教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

(5) 児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況

(単位：人)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
平成29年5月1日	7,805	349	4,143	158
平成30年5月1日	7,729	350	3,997	157
比 較	-76	1	-146	-1

(6) 小中学校教育環境整備事業（理科教育設備整備等事業）

理科教育設備整備費等補助金により、小学校15校、中学校14校の理科及び算数・数学教育に関する設備の整備を行った。

	整備額（円）
小学校	1,042,104
中学校	664,902
合計	1,707,006

(7) 教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務（単位：冊）

区分		冊数
小学校	前期用	71,139
	前期転学用	303
	後期用	17,951
	後期転学用	251
中学校	前期用	39,563
	前期転学用	41
	後期用	-
	後期転学用	40
合計		129,288

(8) 教師用教科書及び指導書購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区分	冊数（冊）	費用（円）
教師用教科書 前後期用	1,122	380,671
教師用指導書 前後期用	430	8,354,232
合計	1,552	8,734,903

(9) 臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施した。

- ・市内27の小学校で実施、参加児童数1,265名
（1校は別事業を実施、2校は隔年実施のため本年度未実施）

(10) 特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

- ・市内43の小中学校で実施、交付金額2,000,000円

指導係

1 指導に関する事業

(1) 学校訪問指導

学校運営、学習指導、生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア 共同訪問

栃木第三小、国府北小、大平中央小、西方小、真名子小、西方なかよしこども園、都賀中、西方中

イ 研究学校

(7) 市指定人権教育実践研究校

・大平東小、大平西小、大平中

(4) 市指定学力向上推進研究校

・大宮南小、大宮北小、国府南小、国府北小、東陽中

(7) 市指定放課後教室研究校

・市内全小学校

(5) 道徳教育推進研究校

・大平中央小、大平南小、大平南中

(4) 特別支援教育推進研究校

・栃木中央小

・協力校（栃木第三小、栃木第五小、栃木東中、栃木西中）

ウ 学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	外国語	6月22日	金	小学校外国語教育研修訪問
2	栃木中央小	国語・理科	6月26日	火	特別支援教育推進研究校
3	栃木中央小	国語・理科	10月3日	水	特別支援教育推進研究校
4	栃木中央小	国語・理科	11月21日	水	特別支援教育推進研究校
5	栃木第三小	外国語	6月22日	金	小学校外国語教育研修訪問
6	栃木第三小	各教科	11月29日	木	共同訪問
7	栃木第四小	理科	6月20日	水	
8	栃木第四小	外国語	6月27日	水	小学校外国語教育研修訪問
9	栃木第四小	生活科	10月10日	水	
10	栃木第五小	算数・社会	6月13日	水	
11	栃木第五小	外国語	6月27日	水	小学校外国語教育研修訪問
12	栃木第五小	国語・算数	10月24日	水	
13	南小	外国語	6月27日	水	小学校外国語教育研修訪問
14	南小	算数	10月10日	水	
15	大宮南小	外国語	6月13日	水	小学校外国語教育研修訪問
16	大宮南小	算数	10月22日	月	学力向上推進研究校訪問
17	大宮南小	国語	11月26日	月	学力向上推進研究校訪問
18	大宮北小	外国語	5月2日	水	小学校外国語教育研修訪問
19	大宮北小	国語(2授業)	11月21日	水	学力向上推進研究校訪問
20	大宮北小	国語(2授業)	2月13日	水	学力向上推進研究校訪問
21	皆川城東小	講話	6月13日	水	小中合同研修会

22	皆川城東小	外国語	6月20日	水	小学校外国語教育研修訪問
23	皆川城東小	国語	9月19日	水	
24	皆川城東小	国語	10月10日	水	小中一貫教育ブロック研究授業
25	吹上小	外国語	6月20日	水	小学校外国語教育研修訪問
26	吹上小	道徳(2授業)	6月22日	金	
27	吹上小	学活(2授業)	9月19日	水	
28	吹上小	学活	9月19日	水	防災教育による要請訪問
29	千塚小	外国語	6月20日	水	小学校外国語教育研修訪問
30	千塚小	道徳	6月27日	水	
31	千塚小	道徳	10月17日	水	
32	寺尾小	外国語	6月20日	水	小学校外国語教育研修訪問
33	寺尾小	体育	7月4日	水	
34	寺尾小	国語	11月28日	水	
35	国府南小	外国語	6月13日	水	小学校外国語教育研修訪問
36	国府南小	国語(2授業)	6月21日	木	学力向上推進研究校訪問
37	国府南小	国語(2授業)	11月15日	木	学力向上推進研究校訪問
38	国府北小	国語	6月11日	月	学力向上推進研究校訪問
39	国府北小	外国語	6月13日	水	小学校外国語教育研修訪問
40	国府北小	各教科	10月16日	火	共同訪問
41	国府北小	国語	11月29日	木	学力向上推進研究校訪問
42	大平東小	外国語	6月27日	水	小学校外国語教育研修訪問
43	大平東小	道徳	6月28日	木	
44	大平東小	道徳(2授業)	10月17日	水	人権教育実践研究校
45	大平南小	外国語	6月13日	水	小学校外国語教育研修訪問
46	大平南小	道徳	10月24日	水	道徳教育推進研究校
47	大平南小	道徳	1月23日	水	道徳教育推進研究校
48	大平西小	外国語	6月27日	水	小学校外国語教育研修訪問
49	大平西小	社会	10月10日	水	人権教育実践研究校
50	大平中央小	外国語	6月13日	水	小学校外国語教育研修訪問
51	大平中央小	各教科	9月28日	金	共同訪問
52	大平中央小	道徳(2授業)	10月31日	水	道徳教育推進研究校
53	部屋小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
54	藤岡小	算数	6月27日	水	
55	藤岡小	算数	10月17日	水	
56	部屋小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
57	部屋小	算数	9月12日	水	
58	部屋小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
59	赤麻小	算数	10月31日	水	

60	三鴨小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
61	三鴨小	理科	7月4日	水	
62	三鴨小	音楽	12月5日	水	
63	合戦場小	外国語	7月13日	金	小学校外国語教育研修訪問
64	合戦場小	国語・算数	10月17日	水	
65	家中小	国語	6月18日	月	小中一貫教育ブロック研究授業
66	家中小	外国語	7月13日	金	小学校外国語教育研修訪問
67	家中小	国語	11月7日	水	
68	赤津小	図工	6月27日	水	
69	赤津小	外国語	7月13日	金	小学校外国語教育研修訪問
70	赤津小	算数	12月5日	水	
71	西方小	外国語	5月9日	水	小学校外国語教育研修訪問
72	西方小	各教科	6月11日	月	共同訪問
73	西方小	算数	11月21日	水	小中一貫教育ブロック研究授業
74	真名子小	外国語	5月9日	水	小学校外国語教育研修訪問
75	真名子小	道徳	6月6日	水	
76	真名子小	道徳	9月12日	水	
77	真名子小	各教科	11月15日	木	共同訪問
78	静和小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
79	岩舟小	算数	10月10日	水	
80	岩舟小	生活科	11月12日	月	
81	岩舟小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
82	小野寺南小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
83	小野寺南小	算数	6月28日	木	
84	小野寺南小	算数	2月6日	水	
85	小野寺北小	外国語	5月16日	水	小学校外国語教育研修訪問
86	小野寺北小	国語	6月13日	水	
87	栃木東中	英語	11月13日	火	
88	栃木西中	社会	7月11日	水	
89	栃木西中	道徳(2授業)	12月12日	水	
90	栃木南中	学活	11月19日	月	
91	東陽中	社会・理科	7月5日	木	学力向上推進研究校訪問
92	東陽中	理科	11月13日	火	
93	東陽中	国語・数学	12月11日	火	学力向上推進研究校訪問
94	東陽中	道徳(2授業)	2月19日	火	
95	皆川中	講話	6月13日	水	小中合同研修会
96	皆川中	道徳	11月14日	水	小中一貫教育ブロック研究授業
97	吹上中	道徳	9月13日	木	

98	寺尾中	道徳	6月27日	水	
99	寺尾中	社会	9月27日	木	
100	大平中	道徳	10月3日	水	
101	大平中	道徳	11月26日	月	人権教育実践研究校
102	大平南中	道徳	6月20日	水	道徳教育推進研究校
103	大平南中	道徳(2授業)	11月16日	金	道徳教育推進研究校
104	藤岡第二中	国語	7月5日	木	
105	藤岡第二中	道徳	11月13日	火	
106	都賀中	各教科	6月18日	月	共同訪問
107	都賀中	社会	9月18日	火	
108	都賀中	英語	11月21日	水	
109	西方中	道徳	6月14日	木	
110	西方中	各教科	11月6日	火	共同訪問

・学校課題 【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2) 教育研究発表会

市内の幼稚園、保育園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で取り組んできた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

- ・実施日 1月24日(木)午後2時～
- ・発表会場 國學院大學栃木学園教育センター
- ・口頭発表者 8件(小2件、中2件、高1件、教育研究所部会3件)
- ・紙上発表者 10件(小6件、中2件、高2件)
- ・参加者 市内幼稚園、保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員等 270人

(3) 人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、大平中学校区の小中学校を人権教育実践研究校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア 第1回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 5月17日(木)
- ・場所 大平公民館
- ・講話 「栃木県の人権教育推進について」
- ・講師 下都賀教育事務所学校支援課指導主事 清水 友晶 氏
- ・グループ協議 「各校における人権教育の現状について」
- ・講師 栃木市教育委員会学校教育課副主幹兼指導主事 福地 達也
- ・参加者 各小中学校の人権教育主任

イ 第2回栃木市人権教育研修会

- ・実施日 8月6日(月)

- ・場 所 大平隣保館
- ・講 話 「同和問題の現状と課題」
- ・講 師 部落解放同盟栃木県連合会事務局長 戸田 眞 氏
- ・参加者 各小中学校1～2名の教職員（主に教職10年目までの教員対象）

ウ 研究指定校(大平ブロック：大平中、大平東小、大平西小)での取組

(7) 研究授業・授業研究会の実施

- ・実施日 10月17日（金）大平東小
11月 7日（水）大平西小
11月26日（水）大平中

(イ) 推進委員会と推進協議会の開催

- ・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施

推進協議会(校長、教頭、教務主任、研究担当者)

実施回数2回 6月19日(火)、2月19日(火)

推進委員会(教務主任、研究担当者)

実施回数6回 4月5日(木)、5月7日(月)、10月17日(水)、
11月7日(水)、11月26日(月)、2月12日(火)

(4) 外国語指導助手学校派遣

小・中学校の英語教育を充実させるため、外国語指導助手（ALT）20人を各学校に派遣し、外国語を通じたコミュニケーション力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小・中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小・中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日に訪問した。

延べ訪問日数 (単位：日)

中学校	1,310
小学校	1,813
合 計	3,123

(5) 特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア 児童生徒支援研修会

- ・実施回数 1回
- ・対 象 特別支援教育コーディネーター 44人

イ 通級指導教室担当者研修会

- ・実施回数 2回
- ・対 象 通級指導教室担当者 10人

ウ 学校支援員研修会

- ・実施回数 2回
- ・対 象 全支援員 66人

エ 特別支援学級担当者研修会

- ・実施回数 1回
- ・対象 特別支援学級担当者 72人

オ 臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等

(6) 幼・保・小連絡協議会

栃木市内の幼稚園、保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を開催した。

ア 代表者会議（年2回）

イ 全体研修会（平成29年度幼小連携推進者の講話）

- ・参加者 幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校教職員 計76人

ウ 幼保小教職員相互職場体験研修

区 分	参加者(人)	期間(日)
幼稚園・保育園から小学校へ	22	22
小学校から幼稚園・保育園へ	30	30

エ 地域別研修会（栃木・都賀・西方地域、大平・藤岡・岩舟地域、各2回）

- ・参加者：第1回67名、第2回69名
- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有（指導案・日案等を通して）
- ・就学先の学校との情報の交換

(7) 地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

ア 14中学校区児童生徒指導連絡協議会

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動を展開

- ・実施期間 6月～2月

イ 栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換や合同研究会を開催

- ・実施期間 4月～3月

ウ 児童生徒支援研修会

小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援コーディネーターによる合同研修会を開催

- ・実施日 7月2日（月）

エ 各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月2日（金）

(8) 適応指導教室運営に関する事務

適応指導員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校への復帰のための自立を促し、学校生活への適応を図るための指導・支援及び保護者に対する教育相談を行った。

- ・適応指導教室通級人数 40人（学校復帰人数31人）

(単位：件)

来所相談	1,777
電話相談	1,406
学校訪問	94
家庭訪問	35
合計	3,312

(9) スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア 実施状況

- ・対応件数 109件（うち終結した件数48件、他機関へ引き継いだ件数13件、引き続き対応している件数48件）

(10) 防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の生命を尊重し、最善を尽くし「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア 栃木市防災教育基本プログラムの活用

- ・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数：44校）

イ 実践的体験活動の充実

- ・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施した。（実施校数：44校）
- ・多様な災害を想定しながら家庭や地域と連携・協力した実践的な体験活動を実施した。

実施日 10月21日（日） 西方総合文化体育館

2月17日（日） 国府南小学校

(11) 小中一貫教育推進事業

「栃木市小中一貫教育ガイドライン（平成29年3月）」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施した。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

平成30年度は、市内全14ブロックで合同学校運営協議会（ブロック会議）を実施し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。

ア 合同学校運営協議会（ブロック会議）

- ・栃木東ブロック 6月19日（火） 栃木市民会館
- ・栃木西ブロック 7月18日（水） 栃木西中
- ・栃木南ブロック 8月1日（水） 南小
- ・東陽ブロック 6月8日（金） 国府公民館
- ・皆川ブロック 6月14日（木） 皆川公民館

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学校課題・研究主題	教科等	備考
栃木中央小	一人一人が生き生きと学び、どの子も「分かる」を実感できる授業の在り方 ～かかわりあいの中で学ぶ授業実践をと おして～	国語科 理科	
栃木第三小	学び合いを生かした確かな学力の育成 ～自分の考えを「書く」「話す」力を伸ば す指導の工夫～	全教科	
栃木第四小	自分の思いや考えを互いに伝え合える子 どもの育成 ～豊かな思考力・表現力を育む学習指導の あり方～	生活科 理科	
栃木第五小	「学ぶ力」を育む学習指導の工夫 ～自分の考えを広げ深める対話的な学び をとおして～	全教科 全領域	
南小	自分の考えをまとめ、説明できる指導の充 実 ～子どもたちの主体的な学びをとおして ～	教科は限定せず	
大宮南小	関わり合いの中で考える力を高めるため の指導法の工夫 ～生き生きと、ともに学び合うための授業 づくり～	国語科 算数科	小規模特認校 (市指定) 学力向上推進 研究校 (市指定)
大宮北小	読む力を付ける指導法の工夫 ～国語 説明文の読み取りをとおして～	国語科	学力向上推進 研究校 (市指定)
皆川城東小	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的 とした小中一貫教育の推進～自他のよさ を認め、共に学び高め合う児童生徒の育成 ～	国語科	
吹上小	主体的に関わり 学びを深め合う児童の 育成	道徳 防災教育	
千塚小	自分の思いや考えを伝え合い、自分の考え をより深めることができる児童の育成 ～本気で聴き合い、本音で話し合う授業を 通して～	道徳	

寺尾小	一人一人が主体的に思考し、自分の考えを表現できる子どもの育成 ～学び合いを通してみんなで伸びる授業づくりを通して～	全教科	
国府南小	読む力を育てる学習指導の工夫 ～国語の説明文の学習を中心に～	国語科	小規模特認校 (市指定) 学力向上推進 研究校 (市指定)
国府北小	自ら考えをもち、表現できる児童の育成 ～協働的な学びの充実を目指して～	国語科	学力向上推進 研究校 (市指定)
大平東小	人権感覚を磨き、自ら考え、自ら行動できる児童・生徒の育成～自他のよさを認める教育活動の工夫と授業・体験活動における人権学習の推進を目指して～	道徳	人権教育実践 研究校(市指定)
大平南小	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成 ～主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫～	道徳	道徳教育推進 研究校(市指定)
大平西小	人権感覚を磨き、自ら考え、自ら行動できる児童・生徒の育成	社会科等	人権教育実践 研究校(市指定)
大平中央小	自ら考え、友達とかかわりながら共に学び合う授業づくり	道徳	道徳教育推進 研究校(市指定)
藤岡小	自分の考えをしっかりと表現する力の育成 ～(読む力・聞く力・話す力・書く力)～	特に限定しない	
部屋小	主体的に表現できる児童の育成 ～児童の意欲を高めるための手立ての工夫～	国語科・算数科 を中心に	
赤麻小	児童の安心・自信・意欲を育む授業づくり ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた道徳等の指導を通して～	道徳を中心として全教科 全領域	
三嶋小	つながりのある学びの展開 ～伝え合う力を使って、日々の学びを生かせる学び(生きる力)へ～	全教科 全領域	

合戦場小	かかわりを通して自分の考えを深める児童の育成 ～対話的な授業づくりの工夫～	国語科 算数科	
家中小	自ら生き生きと活動できる児童の育成 ～自らの考えを表し、学び合う学習活動をめざして～	国語科	
赤津小	自分の考えをもち 意欲的に学び合う子どもの育成 ～お互いの考えを伝え合い深める活動を通して～	全教科	
西方小	よく考え、自ら学ぶ子の育成 ～学んだことを活かしながら、主体的・対話的に学ぶ子の育成を目指して～	算数科	
真名子小	よりよく生きようとする児童を育成する道徳科のあり方	道徳	小規模特認校 (市指定)
岩舟小	思考力・判断力・表現力を育む授業の工夫・改善 ～説明的な文章を通して(2年次)～	各教科	
静和小	数学的な思考力・判断力・表現力を育てる指導の工夫 ～数学的活動による考える楽しさを実感できる授業づくりを通して～	算数科	
小野寺南小	自分の考えを持ち、伝え合い、深め合う児童の育成 ～ 算数科の課題解決学習を通して ～	算数科	
小野寺北小	生き生きと伝え合う児童の育成 ～話し合い活動の充実をめざして～	国語科 特別活動	小規模特認校 (市指定)
栃木東中	生徒に「学ぶ力」を育むための学習指導の工夫	全教科	
栃木西中	「基礎・基本の徹底と分かって楽しい授業」を目指して ～「とち介の学び」による学び合い授業の充実～	全教科 全領域	
栃木南中	基礎・基本の習得と活用のバランスのとれた学力向上 ～家庭学習の推進と朝学習の積極的な実践を通して～	教科指導全般 (特に国語、社会、数学、理科、英語の5教科)	

東陽中	生徒の考えをつなぎ、集団で学ぶよさを生かした授業づくり ～学業指導の推進～（3年次）	全教科 全領域	学力向上推進 研究校 （市指定）
皆川中	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進～自他のよさを認め、共に学び高め合う児童生徒の育成～	道徳 特別活動 総合的な学習の 時間	
吹上中	表現力を育成する指導方法の工夫～自己の考えを積極的に伝え合い、深い学びにつながる活動を通して～	全教科	
寺尾中	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫・改善～生徒の深い学びにつながる主体的、対話的な授業づくりを目指して～	全教科	
大平中	人権感覚を磨き、自ら考え、自ら行動できる児童・生徒の育成～自他のよさを認める教育活動の工夫と授業・体験活動における人権学習の推進を目指して～	全教科 全領域	人権教育実践 研究校（市指定）
大平南中	ふるさとに誇りをもち、ともに夢に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成～主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫～	道徳	道徳教育推進 研究校（市指定）
藤岡第一中	「安心・自信・意欲」を高めるための「わかる授業」づくりと「自立した学習者」を育成するための指導の充実	全教科	
藤岡第二中	「自他を尊重し意欲的に学び、自ら力を伸ばせる生徒の育成」 ～主体的・対話的で深い学びを目指した授業づくり～	全教科	
都賀中	確かな学力の育成を目指した指導法の工夫 ～「基礎・基本」の定着と学力向上を目指して～	国語科、数学科	
西方中	9年間を見通した一貫性のある道徳教育の推進 ～主体的に考え、伝え合う道徳の授業の工夫～	道徳	
岩舟中	学習支援ボランティアを導入した授業展開の工夫	全教科	

*表記につきましては、各学校から報告された文言で示してあります。